

東京三高会だより

第34号

平成29年6月1日発行

三木野々原



発行：東京三高会 青森県立三本木高等学校同窓会東京支部 発行責任者 佐々木文雄

事務局 〒335-0001 埼玉県蕨市北町4-1-5-503 高谷隆二 Tel&Fax 048-442-5118 / 編集責任者 瀬戸口玲子

2016/7/03

第38回

東京三高会

総会・懇親会開催

久しぶり！ 一瞬のうちに高校時代のあの頃に戻ります。



2016/8/15 昭和44年度卒「リオ同期会」開催

年一回、首都圏に住む三高卒業生が集まり楽しく交流する場が「東京三高会」です。それとは別に名幹事さんが束ねるそれぞれの「同期会」も盛んなようです。あなたの楽しいグループのレポートも、ぜひお寄せ下さい！



十和田市に集合したリオ同期会。写真は出席した小沢純二さん撮影、十枝内康仁さんのレポートが7面に掲載されています

今年4月、附属中新入生を迎えて



このプラタナスと似た大木が、南門を入って左側のプール前に並んでいる。百合の木（半纏木）である。明らかに樹皮は異なっているし、さらに枝先にチューリップに似た形の、淡い黄色の花を

は篠懸の、旅の衣は篠懸の、露けき袖やしをるらん」と唄って、成田屋の弁慶を語る生徒が出て来てほしい。あくまで個人的な望みだが。

咲かせる。しかし、高く茂った葉の間に咲くので目立たず、ほとんどの生徒は気づかない。それでも「新渡戸稲造が植えた木だよ」という興味を示す。ならば「太平洋の架け橋とならん」と、大きな希望を抱く生徒に育てよとエールを送りたくなる。

やはり花の存在が大きい。中庭に桜の老木がある。幹は苔むしながら見事な花を咲かせる。幹に直接花をつける「胴吹き」も古木故であり、楚々とした味わいがある。しかし満開の桜のもつ昂揚感は圧倒的である。「たえて桜のなかりせば」とは逆説的だが然りである。「三日見ぬまの桜かな」と言われるが、教室の窓から常に花見ができる生徒は幸せである。が、どうしても中庭に出たくなるらしい。実は、中庭に出る許可の規定はない。だから、生徒はうずうず

する。出ていかどうか、迷った挙げ句に、先陣を切る生徒が出る。その後は次々と花の下で弁当を広げるなり、語り合うなりと続く。

「願わくば花の下にて春死なんその望月の如月の頃」とは西行の歌である。「花見」は、「桜の花の下」にすることが大切なのだ。しかし下から見上げるよりも、二階の教室から見た桜の方が絶対に美しい。桜の花は、木の幹から外に向かつて開くからだ。樋口清之氏は「桜の精霊、つまり桜の木に宿る生命力を全身に受けようとする古代人の発想」から来ていると説明する。生徒にそんな知識はない。が、花を待つ日本人の遺伝子はしっかりと受け継いでいる。

校長
メッセージ

古木雑感

校地内に古木がある。

まず、正門を入って右手にあるのが、プラタナス（鈴掛の木）の巨木である。佐藤春夫作詞の校歌に「園は芽ぐみぬ プラタナス」と表現されており、また生徒玄関前にあることから、生徒たちも意識はしている。しかし、その花に

気づく様子もなく、またその大木の下で語り合う姿もない。巨木は、ただ黙して若人の姿を見守っている。いつかは、「旅の衣は篠懸の、旅の衣は篠懸の、露けき袖やしをるらん」と唄って、成田屋の弁慶を語る生徒が出て来てほしい。あくまで個人的な望みだが。



校長 長者久保 雅仁
ちやうじゃくば まさひと

第38回 総会・懇親会が 開催されました

平成28年7月3日、会員とご来賓の方々総勢70名の出席のもと年一回の集まりを楽しみました。昨年は三本木高校90周年、附属中開校10周年の節目の年、ご出席の長者久保新校長のご挨拶の後、全員でお祝いしました。附属中3学年の東京研修サポートへ取り組んで2年目となりましたが、同窓会として画期的なこの活動への評価をいただきました。

懇親会恒例のお楽しみミニコンサートでは、男性5人のバンド「雨ふらしカルテット」のステージに、三高卒のシンガーソングライターの桜田マコトさんが飛び入りご参加。会場が一体となって盛り上がりました。今年も新企画で皆さんをお迎えしますので楽しみに。

会長の言葉

今年も、ぜひご参加を！

会長 佐々木文雄（S36年卒）



昨年十月十五日、母校創立90周年・附属中学校開校10周年記念式典に、当会を代表して出席しました。文武両道の伝統のもとに培われた母校の歴史に、改めて感慨を深くしました。私たちの高校時代は生活が豊

かでいえず、大学進学を諦める人が少なくかつたものですが、学校生活は「楽しかった！」のひと言に尽きます。運動会、全学年トーナメントのクラス対抗の各スポーツ大会や、三か月間昼休み返上で先輩にしごかれた応援歌の練習など、祝賀会で隣り合わせた二年先輩の八戸支部の奥瀬会長と「まるで同窓会のようなね」と、思い出話に盛り上がりました。

さて、当会は今年で39回目の総会を迎えます。あなたも仲間と懐かしい話に花を咲かせましょう！皆様の出席をお待ちしています。（相模原市在住）

かといえず、大学進学を諦める人が少なくかつたものですが、学校生活は「楽しかった！」のひと言に尽きます。運動会、全学年トーナメントのクラス対抗の各スポーツ大会や、三か月間昼休み返上で先輩にしごかれた応援歌の練習など、祝賀会で隣り合わせた二年先輩の八戸支部の奥瀬会長と「まるで同窓会のようなね」と、思い出話に盛り上がりました。



二次会に移って、さあもう一度！

一年ぶりの再会に乾杯！



同級生の、今

この十和田で生き生きと、十和田のために

平館 雅子（S54年卒）

十和田市健康福祉部
こども子育て支援課課長

ふるさとの子どもの未来を信じて奮闘する日々。

私は、三本木高校の理数科に昭和五十一年四月に入学。卒業後は

大学には進学せず地元十和田市役所に就職し、今年39年目を迎えました。卒業後は三高とは縁遠くなっていました。娘の三高在学中にはPTA学年委員長を三年間、感謝の気持ちでさせていただきます。

市役所では、税務課から始まり総務課、商工労政課で行政経験を積みました。その中でとりわけ印象深く、今も

自身のパワーとなつていることをご紹介いたします。

皆さんは、十和田市の春の行事「桜流鏓馬」をご存知でしょうか。満開の桜の下を女性騎士が的を射抜きながら駆け

抜けます。

この「桜流鏓馬」が、平成二十八年三月に「第20回ふるさとイベント大賞」で内閣総理大臣賞を受賞、また今年三月には「スポーツ流鏓馬大会」が評価され、「スポーツ文化ツーリズムアワード2016」で文化庁長官賞を受賞しました。

私は商工労政課時代に、厚生労働省の「地域雇用創造推進事業」で、観光と農業を重点分野に取組むこととなり、その時着目したのが、馬の町・十和田が育んできた乗馬でした。乗馬観光による雇用創出は全国的にも大変珍しく、全国シンポジウムでの事例発表の機会に恵まれました。「十和田乗馬倶楽部」の地道で着実な取り組みがここに実を結んだこと、そのきっかけ作りのお手伝いができたことを、とても嬉しく思っています。

その後、昨年三月までは「とわだ産品販売戦略課」の課長として、生産量日本一のにんにくを始め、



十和田市の主要農産物や加工品など豊富な十和田産品を、地元関係者さんとスクラムを組んで販売促進に繋げるとともに、食育、六次産業化の事業にも取組みました。休む間もない四年間でしがたに残る仕事でした。

*

現在は、昨年四月に新設された「こども子育て支援課」課長として一年が経ちました。

地方とはいえ、十和田市も働くママが増加しています。仕事と家庭・育児の両立、また何よりも子ども達の健やかな成長を願い、行政はもとより保育関係者がその充実に取り組んでいます。

地域も子ども達をしっかりと見守っています。部落では、「鶏舞」や「駒踊り」などを大人やお年寄

満開の桜の下を駆け抜ける「桜流鏓馬」は春の人気行事に



三高卒業おめでとう——H29年3月卒のみなさん

なかの はな え 中野花重さん

私は東京学芸大学に進学しました。教育実習などの実践的な学習の機会が多いという大学の特徴を生かし、たくさんの方との交流を通して感受性の豊かな人間になりたいと考えています。将来は、私を成長させてくださった個性豊かな三高の先生方と同じ教壇に立ち、恩返しをしたいです。

大学生活では何かと立

ち止まってしまうこともあると思いますが、多くの方々のおかげで今の私があることを心に留め、感謝の気持ちを忘れずに生活し、目標に向かって力強く歩んでいきます。



後列向かって左端が私です

ふるうち ゆきひろ 古内志拓くん

私は工学院大学に進学しました。志望した一番の理由は、生物化学や創薬化学に興味があり、深く学びたいと考

えたからです。将来的には、専門知識を活かした研究を行い、日本の医療に携わりたいと考えています。

春からは東京都八王子市での慣れない一人暮らしがスタート。進学させてくれた家族や導いて下さった先生方への感謝を忘れずにしっかりと学びます。また勉強だけでなく、たくさんの方や文化に触れて広い視野や知識を身に付け、内容の濃い4年間を送りたいと思います。



中央が僕です

おがさわら さき 小笠原 咲さん

私は日本語と日本文学について深く学びたいと思い、お茶の水女子大学に進学しました。言葉が持つ魅力により多くの人へ伝えていくということが私の目標です。アメリカ

の辞書編纂者、ノア・ウェブスターは「言語は雄弁の才能と同様に、神から直に与えられた贈り物である」と言いました。言葉が人を作り、また、人が言葉を作ります。座右の銘を持ち自分の励みにする人がいるように、人間の文化や思想を反映し変化してきた言葉には、目に見えない力があります。私は演劇部の活動を通してその力を実感し、心惹かれました。新生活に不安はありますが、きっちり勉強に勤しみ充実した大学生活を送ります。



後列向かって右から2番目が私です



上 歌詞「たからもの」の前で。市長と一緒に三高小学校の生徒たち
左 大切な郷土芸能「駒踊り」子ども達に受け継がれて行く

りが子ども達の年少の頃から指導し、伝統芸能を継承することで、地域内での繋がりを守り続けています。また、市内小中学校では、各学校の独自のテーマによる「日本一」を目指した特色ある教育活動を展開しています。その取組みを二つほど紹介します。

三高小学校の「ふるさと力日本一」は、南部製織や農業体験、ユニバーサルデザインの学習など、学年ごとにあふるさを追求する学習を積み、遂には全校児童・職員による『たからもの』という歌を作りました。

第一中学校の「奉仕の心（志）日本一」では、市が誇る十和田湖・奥入瀬渓流に着目し、修学旅行先での観光PRや、十和田湖マラソン大会などのイベントでボランティア活動を体験しています。

このような取組みを通して、子どもたちの「ふるさとを愛する心」が芽生え、自分自身への自信と誇り、生きる力へと繋がっていくのです。未来の宝である子ども達の輝く笑顔、躍動感あふれるこのまができています、私は生き生きと仕事（十和田市在住）

会員からの便り

道

野呂 修平 (S28年卒)
バレエ演出・振付家

右 昭和42年、牧阿佐美バレエ団「白鳥の湖」
パ・ド・トロワより森下洋子さんと、
産経ホールにて
左 昭和62年、十和田市市民センター
こけら落としに招聘され、
「コッペリア」全幕を凱旋公演

人間にはそれぞれ、生きてゆかねばならない道がある。その人生という道程（みちのり）は、おおかた二手に分かれていると思う。その一つは、何一つ不自由のない家庭に育ち経済的に恵まれて生涯を幸運なまま終える人達と、もう一方は、苦難に満ちた正反對な人生を強いられる人達である。

運命として用意された道に甘んじて生活するのが良いのか、又は自ら努力して目標に向かって道を切り開き、進む人生を勝ち取るのか…。どちらにせよ、それによつ

てその人の、人間としての価値が問われるのではないだろうか。

私の今日までの八十四年を振り返ってみると、決して裕福な家庭ではなかった。むしろ後者に属する人生を送っていたと思う。(1)出身地東京麻布時代 (2)満州開拓団時代 (3)終戦、後青森県三本木一本木沢開拓時代 (三小、三中、三高) (4)東京での就職、バレエ活躍時代 (5)日本民族舞踊団海外公演時代 (6)熊谷市移住間瀬バレエスタジオ主催者となり創作活動に入り今に至るまでの時代、ということになる。

舞踊家として舞台に立てる今日までは多くの先生のお蔭である。特に三高時代の音楽の長谷川芳美先生、長い間厳しいバレエの指導を頂いた今は亡き服部千恵子・島田廣両先生からは、人間としての社会性に至るまで、舞踊家としての本質を教えて頂いた。

昭和三十八年、バレエのプロダクションとして八年が経過していたが、日本各地に伝わる民族舞踊を世界に紹介する目的で「日本民族舞踊団」が結成され、その一員として加わることとなった。バレエ、モダンダンス、日本舞踊の踊り手たちが一同に集められた民族舞踊による、新しい芸術創造の試



三高同期生「たぬきの会」の仲間達と（前列左）



長谷川芳美先生を囲んで（後列右）



みであった。

昭和四十二年七月、政府派遣親善使節団の海外公演は、カナダ、アメリカ公演を皮切りに、二回目

平成29年度 本部同窓会総会・懇親会のご案内

日時／8月5日(土)午後5時30分～ 会場／富士屋グラン
ドホール 会費／4,000円 連絡先／三高同窓会事務局
(0176-23-4181)

二〇一六年八月十五日、「リオ
デジャネイロオリンピック同期
会」の会場である十和田富士屋ホ
テル三階の会場内に入ると、四年
ぶりの懐かしい面々がもうすでに
多数集っていた。私はその経緯・
経過を知らないのであるが、私た
ち昭和四十四年度卒業生は、オリ
ンピック開催年の八月十五日に
「〇〇オリンピック同期会」と銘

四年に一度、 オリンピック年の 同期会

十枝内 康仁 (S44年卒)
弁護士



はアフガニスタン、イ
ラン等の中近東諸国
を、第三回目はソ連・
東欧の主要5か国を、
四回目は東南アジアの
主要5か国と、16か国
以上を歴訪し好評を得
た。
この日本という国を
背負って全公演に関わ
った約十年の経験は、
私の世界観を変え、そ
の後のダンサーとして

打って、十和田市で四年毎に同期
会を開催してきた。
今回の同期会では、私たちの年
度の卒業生はすでに満六十五歳に
達した者も多く、定年後再雇用制
度も終了して会社勤めから解放さ
れて初めて参加した者もちらほら
いたようである。四年前の「ロン
ドンオリンピック同期会」でも定
年を機会にUターンし、初めて参
加したという者もいた。同期会を
機会に、高校卒業後一度も会った
ことのない懐かしい同期の者と会
えることになったのである。私は、
十和田市で同期会を四年毎に開催
することは、様々な面から無理な
くかつマンネリ化することなく、
かつて一緒に学んだ者たちと会え

の技量の向上と、この道で生きる
という自信をもたらしてくれた。
人生、生きる為の目標を立てた
ら、後は努力あるのみ。強い忍耐
力、どんなことがあっても立ち向
かって戦う。それが目標への道程
であり、やがて二手に分かれてい
る人生の道が一本に繋がると確信
している。
私の苦しかった人生も、バレエ
芸術という道にたどり着き、「バ
レエは美なり、美は心なり」とい
う境地に達し、今、沈む太陽を静



4年ぶりに集合！ 懐かしい同期の仲間達

るきつかけを作るという意味で
は、なかなか優れた企画だと考え
ている。
ところで、私は、平成七年頃か
ら同期会に参加してきたが、その
当時は子供の進学などの話題が多
かった。しかし、最近では孫の話

【編集部注】
野呂さんは今年84歳。舞踊
家、演出家、振付家として一筋
に歩んで来た。そのクラシック
バレエ界での実績で、数々の受
賞歴を残している。喜寿77歳
の時の記念公演では、三高同級
生で友人の附田博さん脚本で、
棟方志功の立志伝を舞台化した
創作バレエ「わだばゴッホにな
るじゃ」を発表、主役として踊
り切った。80歳で大病するも、
現役で後輩を指導中。

(熊谷市在住)

第39回東京三高会総会・懇親会にご参加ください



日 時 平成29年7月2日(日)
午後1:00 受付開始
午後1:30～4:30 総会・懇親会

会 場 学士会館バンケットルーム
202号室
東京都千代田区神田錦町3-28
Tel 03(3292)5936
URL <http://www.gakushikaikan.co.jp/>
会場までのアクセスは、案内状に
同封の詳しい地図を参照

会 費 男性、女性とも8,000円
(年会費2,000円含む)
新卒生の皆さんは無料招待

事務局 高谷隆二(S40年卒)
連絡先は会報表紙上部に記載

★総会欠席会員の方へのお願い
年会費「2,000円」をお振込みください
(会費とは会報制作・発送・ウェブサイト運営・
総会会場費などに使われる費用です)
郵便振込口座記号
0019-5-362825「東京三高会」宛

東京三高会
オフィシャルサイト

世代を超えて

<http://tokyo-sanko.net/>

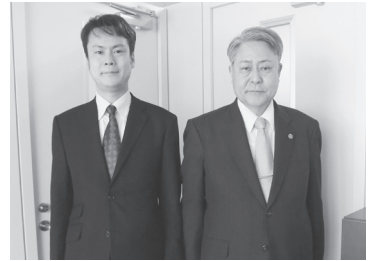
■東京三高会役員

(任期：平成27年7月～平成29年7月総会まで)

卒年

名誉会長	下佐 剛	(S28)
顧問	佐藤 中 野呂 義春	(S32) (S32)
相談役	河野 光成 前川 十志男 村中 弘 下山 雅章 漆畑 満 堰野端富志男	(S28) (S31) (S32) (S33) (S34) (S38)
会 長	佐々木 文雄	(S36)
副会長 (事務局長)	北川 和子 高谷 隆二 佐々木 賢明 富田 俊一 畠 雅仁	(S30) (S40) (S40) (S43) (S47)
理 事	藤本 モミ 五十嵐 明子 (会計) 高坂 忠 (会計) 田制 則子 鈴木 朋子 馬場 洋子 三浦 景子 (広報) 瀬戸口 玲子 望月 福子 岸 綾子 坂田 俊英 田中 優子 辻 まり子 田中 奈穂美 永井 俊子	(S29) (S31) (S37) (S37) (S38) (S38) (S38) (S41) (S42) (S46) (S55) (S58) (S47) (S56) (S56)
監 事	野坂 和夫 川原 淳	(H 5) (S55)

ご子息と一緒に、十枝内さん(右)



や両親の介護、相続
の話題が多くなって
いるように感じられ
る。私も父は既に亡
くなっているが、満
九十四歳の母は健在
で野辺地町の高齢者
介護施設に入所して
いる。私は、弁護士
業務として相続や高

齢者の介護問題に直面することが
あるが、同時に私自身の問題でも
あるので身につつまされる思いをす
ることも少なくない。
同期会は、同年代に属する者と
しての悩みを自己の問題として感
じる機会でもある。私は東京を中
心に弁護士業務を行っているが、
幸い息子が十和田市の当事務所支
所で弁護士業務を行っており、

時々母のところを訪問しているよ
うで、大変助かっている。
二〇二〇年の東京オリンピック
開催に合わせて、その年の八月十
五日に「東京オリンピック同期会」
も開催されることが既に決まっ
ているようだ。幹事の皆様に感謝し
つつ、四年後の同期会の開催を
楽しみに待っているところである。
(中央区在住)